



2050 ZERO CARBON
NAGANO

2050ゼロカーボンを目指す長野県のシンボルマークです

しあわせ信州

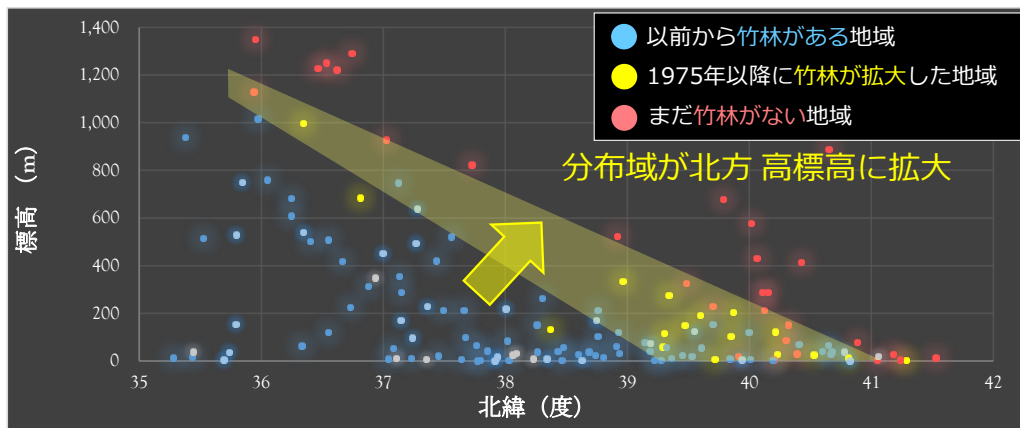
長野県（環境部）プレスリリース 令和4年（2022年）3月10日

長野県環境保全研究所の研究成果が IPCC 報告書の科学的根拠の一つとして引用されました

国連気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第6次評価 第2作業部会報告書が2月28日に公表されました。この中で、長野県環境保全研究所等の研究グループの論文^注が「侵略的な生物種の分布域が気候変動によって拡大している」という科学的根拠の一つとして引用されました。

● 引用箇所

日本におけるモウソウチク・マダケ竹林の分布域が、温暖化に伴い、北方かつ標高の高い地域へ拡大したことを検出した部分（下図の内容）。



- 環境保全研究所では、県民の皆様引き続き成果を発信し、科学的な知見の蓄積を通じて政策決定に資すると共に、県や国そして国際的な学術コミュニティに貢献していきます。

注) Takano *et al.* (2017) Detecting latitudinal and altitudinal expansion of invasive bamboo *Phyllostachys edulis* and *P. bambusoides* (Poaceae) in Japan to project potential habitats under 1.5°C-4.0°C global warming (日本の外来タケであるモウソウチクとマダケ(イネ科)の潜在生育適域の高緯度・高標高域への分布拡大の検出と 1.5~4.0°C地球温暖化環境下での予測). *Ecology and Evolution* 7: 9848-9859. DOI: [10.1002/ece3.3471](https://doi.org/10.1002/ece3.3471)



本研究は、文部科学省気候変動リスク情報創生プログラム領域テーマ「課題対応型の精密な影響評価」JPMXD0712103606 (研究代表者: 京都大学 中北英一教授) 及び気候変動適応技術社会実装プログラム (SI-CAT) サブ課題 JPMXD0715667201 (研究代表者: 長野県環境保全研究所 浜田 崇) 他の支援を受けました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



【長野県は「SDGs 未来都市」です】

SDGs (持続可能な開発目標) は、美しく、誰もが安心して暮らし続けられる社会をめざし、世界みんなで取り組む目標です

環境保全研究所 自然環境部 (飯綱庁舎)
(次長) 渡辺 昭生 (担当) 高野 宏平
TEL 026-239-1031 (代表)
FAX 026-239-2929
E-mail kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp

環境部 環境政策課 総務係
(課長) 真関 隆 (担当) 戸谷 亮太
TEL 026-235-7171 (直通) 内線 2714
FAX 026-235-7491
E-mail kankyo@pref.nagano.lg.jp